

■新型コロナウイルス感染症対策に719億円

新型コロナウイルス感染症対策の予算総額は、2019年度2月補正の20億円、2020年度の4月補正365億円、5月補正288億円、6月補正1,160億円などに今回の9月補正719億円を加えた2,595億円(外に債務負担行為1,201億円)に上ります。

1. 感染症拡大防止や医療面での対策

感染拡大防止に向けた施策や医療提供体制の更なる強化のための取組を実施

- ・ **高齢者等のインフルエンザワクチン接種自己負担ゼロに** 18.0億円 市町村の高齢者等のインフルエンザワクチンの定期接種(10/1～25は優先期間)の自己負担相当額を県が市町村へ補助し自己負担なしに
- ・ **マッサージ等の施術所の感染防止対策の経費補助(上限10万円)** 6.4億円
- ・ **宿泊事業者の感染防止対策を支援(上限200万円、補助率2/3等)** 6.2億円
- ・ **感染リスク省エネの観点から工場・事務所・店舗等の高機能換気設備の導入支援(上限2000万円、補助率2/3等)** 0.9億円

2. 県民生活への対策

県民生活への影響を最小限に抑えるため様々な対策を実施

- ・ **愛知県図書館で電子書籍貸し出しサービス(5000冊購入)を導入** 0.4億円
- ・ **県立学校及び私立学校(小中高等)の修学旅行キャンセル料を支援** 3.0億円

3. 経済対策

企業等の経済活動への影響を最小限に抑えるとともに経済活動の回復や強靱な経済構造の構築に対する支援策を展開

- ・ **中小企業の販路拡大等やプレミアム商品券(いなざわ飲食・商店エール券)の応募は終了)の支援(29⇒48市町村)** 3.7億円
- ・ **県内宿泊施設利用に割引クーポン等** 16.1億円 県内旅行商品の業者補助(最大1万円、1/2相当額)や県民等がネット会社経由の県内宿泊施設予約でGo Toトラベルの割引(35%)に**宿泊代金割引クーポン(15%程度)**を発行等
- ・ **農作業の省力化を緊急的に進める地域の取組を支援(産地戦略の品目で露地栽培3ha以上、補助率1/3等)** 2.5億円
- ・ **県産木材を使用した住宅建築の工務店に助成(1棟上限87万円)など林業・木材産業者を支援** 2.3億円



■東海北陸自動車道一宮稲沢北IC

東海北陸自動車道へのアクセス強化・県道岐阜稲沢線の渋滞緩和を目的に稲沢市から北へ約2.2kmのICの名称が**一宮稲沢北インターチェンジ**に決定。15箇所の信号交差点を通過することなく東北自動車道へアクセス可能となります。今年度開業です。※ICから**名神高速道路**へ乗り降りにはできません



■新濃尾大橋架橋促進期成同盟会通常総会

尾張西部地域と羽島・西濃地域を結ぶ濃尾大橋の慢性的な渋滞解消への新濃尾大橋(新幹線から南側に見える)の工事は最後の1脚も今年度中に完了、上部工も始まり総工費290億円の完成は令和5年度の予定です。



鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

TEL 24-6600 FAX 23-0791



愛知県議会報告 J-PRESS

新政あいち県議団

愛知県議会報告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

責任者: 鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

11月22日 稲沢市長・市議補選

10月13日に閉会した9月定例会初日には大村知事からコロナの判断基準の**厳重警戒(オレンジ)から警戒領域(イエロー)への移行**や菅新内閣への期待、経済情勢、スタートアップ・エコシステムの推進、藤井聡太棋聖八段二冠達成など県政を取り巻く状況のほか804億4千万余円の一般会計補正予算等について提案があり、全ての議案について可決しました。

歳入ではコロナの影響で県税及び地方譲与税合わせて400億円の減収に対し地方交付税の決定増170億円、県債230億円(猶予補填債の新設・減収補填債の早期発効など)で対応、県税が当初予算額を下回るのはリーマンショックの2008、09年度以来です。**新型コロナウイルス感染症対策には719億円**、またPPPによる**新・稲沢署待機寮**(25㎡×12戸、稲沢警察署敷地内に移転新築)は令和3年秋頃共用予定です。

また、コロナ対応の愛知県立愛知病院及び新型コロナウイルス感染症対策推進条例の制定等のほか、令和元年度決算については閉会中の審査としました。

衆議院の解散総選挙が取り沙汰されていますが、稲沢市長選挙及び市議会議員補欠選挙は11月15日告示、22日投開票ですので**Let's vote!**(投票に行こう!)大切な一票を宜しくお願いします。



国民解党 菅内閣誕生

2009年盛夏の政権交代から2012年末冬の自民党圧勝と十年を超える時が過ぎましたが、民主党が下野してから長年に亘り日本をリード頂いた安倍総理が辞任され時代が終わりました。鈴木は自民市議から無所属で市長選へ挑戦、色々あり二大政党制を目指して2007年民主党公認で県議に当選させて頂きました。国政政党の混乱からも軸足はより地域(新政あいち)に置くようになりましたが国民民主党が解党した今、初心に帰り...**未来へつづくまちづくり**へ人生懸命働きます。

豊田合成記念体育館エントリオOPEN!

豊田合成創立70周年記念事業の一環としてJR稲沢駅東に豊田合成記念体育館 **ENTRIO** がオープン。ウルブドッグス名古屋などの活動拠点となるアリーナは最大3,500人収容、ナゴヤキャッスルのレストラン**アンドトレッセ**、コンビニの**ポプラ**も併設され地域交流の場として期待される稲沢の新たなランドマークの誕生です。

エントリオとご・地域・スポーツの三つの縁(エン)を大切にお互いを支援(エン)し共に発展していこうと三重奏のトリオをつけて命名(アリーナの写真は朝日新聞デジタルから)

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すずき 純



■第2期愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略 計画期間2020～2024 年度

1. 第2期に向けた基本的な考え方

「日本一元気で、すべての人が輝く、住みやすい愛知」を目指して、東京一極集中にストップをかけ、日本の発展をリードしていけるよう、地方創生に全力を尽くす

「日本一元気な愛知」の産業力のさらなる強化・・・CASE MaaS ジブリパーク 大学

すべての人が活躍する「日本一輝く愛知」のさらなる進化 「日本一住みやすい愛知」のさらなる発信

2. 重視すべき視点

- 視点1 時代の流れを力にした産業革新・集積
- 視点2 人材を育て、生かす
- 視点3 新たな魅力の創造と発信
- 視点4 若い世代の希望をかなえ誰もが活躍できる社会
- 視点5 バランスのとれた持続可能な地域づくり

(第1期の視点)
産業を強くし職場をつくる
地域の魅力を磨き上げ、発信する
結婚・出産・子育ての希望をかなえる
活力ある地域をつくり、バランスある発展を目指す



3. 基本目標と施策 …6つの基本目標に合計19の数値目標と193の重要業績評価指標(KPI) (4略)

基本目標① しごとづくり

産業構造が大きな変革期を迎える中で、時代の流れを力に変えモノづくり産業をはじめ農林水産業を含めたあらゆる産業競争力を高めるとともに、イノベーションによる「しごと」創出、人材育成を推進
●数値目標:国内総生産シェア7.6%、製造品出荷額等シェア15%程度、農林水産産出額3,500億円など6項目 重要業績評価指標(KPI):70項目

(1)次世代産業の振興 自動運転分野での社会実装件数などKPI 17

・次世代自動車、新たなモビリティ、航空宇宙、ロボット、社会実装 ・健康長寿、環境・エネルギー

(2)イノベーションの促進 KPI 10

・ステーションAiを拠点にスタートアップの育成・集積、スタートアップ・エコシステム、AI・IoT・ビッグデータの活用等

(3)中小・小規模企業の振興 KPI 8 ・販路拡大等新規事業展開等への支援、事業継承の支援、海外展開の支援

(4)サービス産業の支援 KPI 2 (5)海外とのパートナーシップの構築 KPI 1

(6)産業人材の育成 新規高卒者の建設業への就職者数などKPI 9

・モノづくりなど産業を支える人材の育成、科学技術系人材の育成、グローバル人材の育成・確保

(7)農林水産業の振興 ICT温室研修参加者などKPI 23

・6次産業化や県産品の知名度の向上・需要拡大、次世代技術、生産性、担い手の確保・育成、鳥獣被害対策等



基本目標② 魅力づくり

「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の発信やAichi Sky Expoを核とした国際交流の推進、スポーツや伝統文化を活かした賑わいづくりなどにより国内外から人を引きつける魅力ある地域をつくる。

●数値目標:来県者数5千万人、観光消費額1兆円など3項目 重要業績評価指標KPI:24項目(内再掲3)

(1)地域ブランドの構築と愛知ならではの観光資源の発掘・磨き上げ 観光消費額などKPI 3

・ジブリパークなどの新たな魅力に加え産業観光、武将観光、お城観光、街道観光などの磨き上げ等

(2)旅行者の多様なニーズへの対応 滞在日数などKPI 3 ・着地型観光、女子旅、ナイト観光など新たなニーズへの対応

(3)インバウンドの拡大に向けた効果的な情報発信と環境整備 KPI 2

・Heart of Japan等の情報発信、受入れ環境や観光拠点の整備

(4)MICEの誘致 KPI 1 ・展示会産業振興、MICEへ高級ホテルの立地促進

(5)広域観光の推進 KPI 3(内再掲1)

(6)スポーツ大会を活用した地域振興 新体育館のオープン時期などKPI 8

・第20回アジア競技大会※等を契機とした地域活性化、「あいちトップアスリートアカデミー」による地元選手発掘・育成

(7)文化芸術の創造・発信 KPI 2 (8)観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成 KPI 2(内再掲2)



基本目標③ 人の流れづくり

企業誘致や大学の魅力づくりなど若者を引き付ける魅力の向上を図るとともにUIターン希望者等との県内企業とのマッチングなどにより、地元人材の定着や東京圏等からの人口流入・定着を促す。

●数値目標:転出入者数5年間で7.5万人の転入超など2項目 重要業績評価指標(KPI)18項目(内再掲1)

(1)企業誘致 次世代産業の立地件数などKPI 2 ・産業空洞化対策減税基金等による産業立地、外資系の誘致

(2)大学等の活性化 県内企業と県内学生のマッチング数などKPI 3

・新学科設置など県内大学の魅力づくり・活性化、地域連携、就職支援



(3)移住・定住の促進 マッチングサイトに新たに掲載された求人数などKPI 10

・交流人口や関係人口による移住促進、UIターン希望者とのマッチング

(4)留学生の受け入れ拡大 KPI 1(内再掲1) ・アジア留学生受入、就職支援等

(5)人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化 KPI 2

・リニアに向けたスーパーターミナル化や中部国際空港の2本目滑走路等

基本目標④ 結婚・出産・子育て環境づくり

若者の就職支援等による経済的安定や子育て支援等の充実、女性の活躍促進や働き方改革の推進により、若い世代が希望を持って働き、暮らし、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる。●数値目標:合計特殊出生率1.8(2030年)、女性(25～44歳)の労働力率76.1%以上など3項目 重要業績評価指標(KPI)28項目

(1)若者の経済的安定 就職支援講座修了者の就職決定数などKPI 4

・キャリア教育の推進、ヤング・ジョブ・あいちでの総合的な就労支援、就職氷河期世代(30代半ばから40代半ば)の支援

(2)結婚・出産・子育て支援 子ども食堂の数などKPI 14

・婚活イベント、妊娠・出産、周産期医療、子ども・子育て支援、子どもの貧困、待機児童、放課後児、経済的負担軽減

(3)女性の活躍促進 KPI 6 ・女性の活躍に向けた機運醸成、再就職や起業への支援、働きやすい環境づくりの推進

(4)ワーク・ライフ・バランスの推進 働き方改革サポートセミナー等の参加者などKPI 4

・仕事と生活の調和に取り組む企業の拡大、テレワーク導入促進など働き方改革の推進

ワーク・ライフ・バランス推進する
ファミリー・サポート企業



基本目標⑤ 暮らしの安心を支える環境づくり

「人生 100 年時代」と言われる中、医療・介護・福祉の充実に加えて労働や地域活動への参加を促進することで、年齢、障害の有無、国籍に関わらず誰もが生涯にわたって活躍できる社会を実現する。

●数値目標:健康寿命全国1位(2022年:男性75年以上、女性80年以上)など2項目 重要業績評価指標(KPI)20項目

(1)健康長寿の推進、医療・介護・福祉の充実 健康宣言の実施事業所数、認知症サポーター養成数などKPI 6

・企業等における健康経営の促進など健康づくり支援、地域医療の確保、包括ケアシステムの構築

(2)全員活躍社会づくり KPI 6 ・高齢者の就労・社会参加・障害児者支援等

(3)外国人が働きやすく、暮らしやすい環境づくり KPI2

・人手不足、農業・介護分野など労働環境、生活環境、多文化共生

(4)総合的な防災・減災対策の推進 KPI2

・強靱な県土、担い手確保などハード・ソフト面で総合的な防災・減災対策

(5)安心して暮らせる地域社会 KPI3 (6)行政とNPO等との連携・協働 KPI 1



基本目標⑥ 活力ある地域づくり

人口減少地域における「関係人口」の拡大による人口維持・増加を図る。また、経済・社会・環境が調和した持続可能な社会をつくるためSDGsの理念を踏まえた様々な取組を進める。

●数値目標:県民所得全国平均の1.25倍以上など3項目(再掲1) 重要業績評価指標(KPI)33項目(内再掲12)

(1)東三河地域の観光・産業振興や就業促進 KPI 6(再掲5) (2)三河山間地域・三河湾の島々の振興 KPI 9(再掲6)

(3)持続可能で活力あるまちづくり 立地適正化計画新規策定市町村、SDGsプログラム等KPI 14(再掲1)

・集約型まちづくり、商店街の活性化、ICTの利活用 ・持続可能なエネルギー社会、地球温暖化対

策、愛知県SDGs未来都市計画、循環型社会、地産地消 ・公共施設等の適正な維持・管理等

(4)地域間連携・広域連携の推進 KPI 1 ・連携中枢都市圏等 (5)地域の自主性・主体性の発揮 KPI3 地方分権改革等



■連合愛知尾張南地協政策要望書作成会議

連合愛知尾張南地域協議会(代表:後藤豊田合成労働組合委員長)の稲沢市に向けた政策要望書作成会議が開催され稲沢市議会市民クラブの木全会長(副議長)、星野市議、岡野市議と参加し、避難の在り方や避難所の運営、マイタイムライン、ICTの活用、改正される洪水ハザードマップの活用、暴風に対する対応、人材の育成など防災についてほかを協議しました。



■宮田用水土地改良区臨時総代会

理事を拝命している宮田用水土地改良区の臨時総代会がコロナ対策のため会場を変更して行われました。ちょうど自民党の総裁選の投票が行なわれていましたが総代会でも役員(理事・監事)の選任投票が行われ、鈴木は監事(16日の監事互選により総括監事を拝命)に選任頂き、令和元年度事業報告・一般会計収支決算など全ての議案を可決頂きました。

